

## 「いわき市被災支援ボランティアの呼びかけ」

小林祥人（取手伝道所・関東教区宣教部社会委員長）

あの3月11日以来、「わたしたちにできること」という言葉がいろいろなところで使われています。関東教区総会の次の日に飯塚拓也教区副議長と共に、いわき市とそこにある三つの教会をお訪ねすることができました。常磐教会とのぞみ保育園に責任を持つほか勿来教会の代務にも奔走し、「夏ごろには少しだけ休みがとれれば」と言っていた武公子先生と、4月に磐城教会に赴任し、「この二カ月たいへんだったでしょう？」という問いかけにも、何も言わずただ元気そうに微笑むだけだった若い上竹裕子先生に迎えていただきました。このお二人の先生が牧する教会の会堂・牧師館も含めて、福島県内で最大の人口をほこるいわき市は確かに被災の地でした。そして地理的にも茨城にたいへん近いこの土地は、関東教区の私たちにとって隣人にほかなりません。

さて、いわき市社協の中にあるボランティア・センターを訪ねたのですが、現在ボランティアの不足に悩んでいるということでした。「午前中だけ」「午後から」など、ごく短時間でもよいから、ぜひ加わってほしいというお話でした。特に圧倒的に足りないのは平日の作業で、本来20人必要なところを5人程度で担っているそうです。そうしたことから、他の地域からのボランティアを志願する人たちを非常に求めている、関東教区からキリスト者ボランティア派遣の可能性をお話ししたところ、窓口にもなってくださいとのことでした。さらに、作業に出かける人たちに「ヘルメットつけて！」と声かけによる注意や、作業から帰ってきた人たちに飲み物を配るなどの「ボランティアのためのボランティア」もまた足りない状態だという言葉を担当の方からお聞きしました。ここには「祈り」とさえいえるほどの、人の力を求める願い、また期待があるように思えました。そしてその「力」とは特殊なものでは決してなく、「私たちの日常」を分かち合うことなのかもしれません。

いわき市の中心部から30キロほど南の勿来教会へ行きました。現在は無牧で、吉田さんという教会員のご夫婦が会堂と牧師館を力強く守っていました。その牧師館をボランティアの人たちの宿舎として、できれば貸していただけないかとお願いすると、「教会の建物がそのようなことのために使われるなら」と快諾してくださいました。かなり広く、また好条件のボランティア・チーム宿舎が提供されたことになります。そこにも被災の地にあつて地域復興への長い道のりを神様と共に歩もうとする教会の祈りがありました。

長い道のり――それは「継続的な関わり」の必要性を意味するでしょう。震災からの復興を考える際の最も大きな課題も、そこにあると思われまます。

「自分が行ったところで何ができるだろう」と躊躇する時に、たくさんのものが備えられていく中で「できることはたくさんあるよ」と、背中を押してくださる神様を感じています。いわき市での被災支援ボランティアの呼びかけをしております。希望される方また関心をお持ちの方のご連絡をお待ちします。下記まで

0297-72-3160（取手幼稚園）fax 0297-72-4917

090-3529-5140（携帯）

Mail: yocito@educet03.plala.or.jp

## 関東教区内の教会の被災を覚え、お祈りください

統括主任 飯塚拓也

「東日本大震災」による建物被害は、関東教区が大きい状況と思います。徐々に建物の被害状況が明らかになり、復旧・復興工事の協議も進んでいます。そこで、建物に被害を受けた教会・伝道所・関係施設の中で被害の大きいところを紹介し、皆さまに祈っていただきたいと思っています。

### 【水戸中央教会】

水戸中央教会は、平屋建の旧幼稚園保育室を、2階建の牧師館と会堂で挟んだ形の建物です。その内、牧師館と旧保育室部分に甚大な損傷があり、『危険建物』と診断されました。安全のためには、取り壊しを急ぐ必要があります。会堂部分は軽微な損傷ですが、構造上、牧師館と旧保育室を取り壊して会堂だけ残残して大丈夫かは不明です。牧師夫妻には、隣のマンションの1室を借りて住んでいただいています。また、週日の諸集会は、教会で近くに部屋を借りて緊急避難的に行っています。

現在、松下設計士にアドバイスをいただいて、今後の方向を求めているところです。すべてを取り壊して、会堂・集会室・牧師館を総合的に立て直すか、あるいは、会堂は残して（会堂を残す場合でも耐震補強が必要となります）、集会室と牧師館を建て直すか等を検討されています。

水戸中央教会は会堂のバリアフリー化のために、スロープ工事を終えられたばかりでした。そのために蓄えを使いましたので、今回の被災のための自己資金は厳しい状況です。

そこで、「自分たちにできることを始めよう」と、会堂再建資金のためにパンフラワーのブローチを作っています。購入のご協力をくださる方は、水戸中央教会までお知らせください。



### 【宇都宮教会】

宇都宮教会では、会堂2階部分の礼拝室の漆喰天井が大幅に落下し、緊急の応急処置をしました。松下設計士の建物診断の結果、大規模な補修（柱、梁、壁の強度の問題）が必要ということが分かってきました。耐震補強工事費用も考えると、むしろ建て替えが望ましいとのことです。

宇都宮教会長老の相原さんの報告を紹介しましょう。

「宇都宮教会の会堂はヒビ割れが多く発生し、余震でも新しく認められ、あまり気持ち良いものでは有りません。礼拝が守れているという非緊迫感で、教会員がまだとてもその気持ちにならず、どのように私たちの意志を分っていただけるか勧め方に戸惑いを覚えています。不用意なインパクトを与えてしまい、教会を遠のく人でも出たらと私は恐れています。教会員の気持ちを傾聴し、心情や不安感を把握したいと考えています。駐車場を持っていないのが日頃の悩みの一つなのですが、長老会では、交通の便で今の場所と5/1に決めました。そこで私は、市の建築指導課に行って来ました。今の土地60坪でも2mオフセット(建蔽率77%)すると、緩和規定で一階に駐車場が作れることが計算できました。会堂の土地は移動しないでも今後の宣教活動には支障が発生しないことがわかりましたので今の土地で頑張りたいと思います。」